

報告書抄録

ふりがな	ばんばいせき							
書名	番場遺跡							
シリーズ名	国道477号緊急地方道路整備事業にともなう発掘調査報告書							
編著者名	大崎康文・大道和人・小竹森直子							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 077-528-4647			〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1732番2号 077-548-9780				
	発行年月日 平成23年(2011年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査 面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ばんばいせき 番場遺跡	がもうぐん 蒲生郡 ひのちよう 日野町 みそつ 三十坪	25383	034	350156	1362120	4,000m ²	20080728 ↓ 20090109	道路 (国道477号特殊 改良一種事業)
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
番場遺跡	集落	古墳時代 中世	旧流路・落ち込み・ 土坑・ピット 溝・ピット	土師器・須恵器・韓式土器・ 木製品(農具・建築部材他)・ 種子類 土師器・陶磁器		手捏土器・堅櫛・木製 大型網代が出土 溝は蒲生郡条里方向		
要 約	<p>北調査区(T1~T3)の旧流路と落ち込みからは古墳時代中期(5世紀後半)の土器や木製品など比較的多くの遺物が出土した。土器では数点の初期須恵器片の他はすべて土師器で、完形のものも出土している。木製品では、杭状木製品や板、棒などの建築部材と考えられるもののほか、木製の網代が良好な保存状態で出土した。また漆を塗った堅櫛が1点出土したほか、木製品洗浄中に数種類の種子類を採集できた。建物跡は検出できなかったが、遺物の量から考えると調査区周辺に当時の集落跡が存在することは確実で、初期須恵器や韓式系土器、土師器の台付甕、堅櫛など他地域との交流を物語る遺物は、古代の天皇が薬猟に訪れている古代蒲生野に位置し、特に天智天皇は「蒲生郡匱窪野(ひっさの)」を視察させるなど一時は官の候補地になるほどの地であった当遺跡周辺の歴史性を示唆するものと考えられる。</p>							
	<p>南調査区(T4~T9)では、溝から中世~近世にかけての土器・陶磁器が出土したが、他の遺構からは遺物はあまり出土していない。見つかった溝は水田用水路であったと考えられ、現在の水田区画と同じ方向のものであり、周辺の水田景観が中世にまでさかのぼることが判明した。</p>							